

飛魚



TANEGASHIMA
MEDICAL CENTER

第 29 号

平成 30 年 8 月

社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター

島民の皆様に愛され 信頼される病院

私たちは思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます

基本方針

1. 地域に根ざし、信頼される病院

- ・誰でも、いつでも安心して利用できる、地域に密着した病院作りをいたします。
- ・救急体制を充実し、24時間対応します。
- ・地域医療機関などとの連携を図り、必要に応じた役割りを果たします。

2. 温もりと思いやりのある医療を提供する病院

- ・各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を行います。
- ・患者様の権利を尊重し、安全医療の推進に努めます。
- ・快適かつ安心して医療を受けられる療養環境を提供いたします。

3. 医療の質を高め、お互いに学び合える病院

- ・医療人として専門知識、技術の研鑽に努めます。
- ・患者様共々学びあい、ニーズに合った地域医療を目指します。

表紙「飛魚」：田上悠峯 書

「悠峯」とは、義順顕彰会会長 田上容正が、公益財団法人
日本習字教育財団から命名された雅号です。

表紙写真

表紙写真

平成 29 年 8 月 市民会館前で団体手踊りへ参加した当院職員を撮影。

- ・カメラ：Panasonic DMC FZ-1000
- ・撮影者：森永 隆治

※第 1 回年報誌「飛魚」フォトコンテストの大賞は残念ながら該当者なしという結果でした。
佳作をカット画像として使用させて頂いています。

目次 Contents

理念・基本方針

巻頭言	病院長 高尾 尊身	4
理事長挨拶	理事長 田上 寛容	6
「飛魚」の歴史		8

概要

概要	12
沿革	15
組織図	19
委員会組織図	20
常勤医師	21
職員数	22
病院日誌	23

実績

種子島医療センター	統計資料	30
	診療部門	41
	診療技術部門	51
へき地医療センター		56
田上診療所		58
わらび苑		60
関連施設		62

寄稿

随想「夫婦のかたち」	会長 田上 容正	64
「日本ヒト細胞学会 in 種子島」顛末記 - 種子島で初めての医学会開催 -		
	病院長 高尾 尊身	65
屋久島診療所へ通っての3年	医師 猿渡 邦彦	68
大的始式の弓次郎を努めて	医師 島田 紘一	69
リハビリテーションの進化を目指した楽しい実技講習会		
	促通反復療法研究所所長 川平 和美	71
飛魚に寄せて	医師 瀬戸山 充	73
第33回全日本医科歯科学生サーフィン選手権大会	医師 遠迫 孝昭	74
鹿児島県医師会会長賞を受賞して	看護師 飯田 ゆりえ	76
種子島医療センターで働いて	看護師・女優 松原 奈佑	77
管理・運営認定療法士を取得して	部長 早川 亜津子	78
平成29年度 研修医受け入れ状況		79
種子島医療センターでの研修を終えて		80
医学生からのお礼状		87

部門別紹介

【診療部】

外科（消化器・乳腺甲状腺）	92
総合診療科（一般内科）	93
消化器内科	95
眼科	96
整形外科	97
脳神経外科	98
小児科	99
麻酔科	102
肝臓外来	103
呼吸器内科	104

【看護部】

看護部	106
外来	108
手術室・中央材料室	109
外科・脳外・整形病棟（2階病棟）	110
内科・眼科・小児科病棟（3階西病棟）	111
地域包括ケア病棟（3階東病棟）	112
回復期リハビリテーション病棟（4階病棟）	113
透析室	114
クラーク室	115

【診療支援部】

薬剤室	118
中央放射線室	119
中央検査室	122
臨床工学室	123
栄養管理室	124
リハビリテーション室	125
各チーム紹介	126
組織図	130
療法士修了書一覧	131
地域医療連携室	132

【事務部】

総務課	136
医事課	137

【直轄部門】

DMAT	140
医療安全管理室	141
システム管理室	142

院内委員会活動

院内感染対策委員会	144
NST（栄養サポートチーム）委員会	145
緩和ケア委員会	146
化学療法委員会	147
看護部教育委員会	148

クリニカルパス委員会	149
リスクマネジメント委員会	151
医療安全管理委員会	152
接遇推進委員会	153
看護部記録委員会	154
褥瘡対策委員会	155
医療ガス・設備安全対策委員会	156
レクリエーション委員会	157
<hr/>	
関連施設	
田上診療所	159
訪問介護ステーション・野の花	160
わらび苑	161
院内保育所	162
	164
<hr/>	
活動紹介	
へいじろう紹介	166
種子島鉄砲祭り	168
第27回 種子島医療センター杯ジュニアバレーボール大会	169
ゴルフの思い出	170
TSC (種子島医療センターサーフィン部)	171
種子島鉄砲ゲートボール大会に参加して	172
卓球大会への参加	173
つながる想い in かごしま	174
サロン たねがしま	175
促通反復療法(川平法)PT・OT研修に参加して	176
転倒転落防止WG	177
摂食嚥下WG	178
新入職員研修	179
ふれあい看護体験報告	180
平成29年現地施設見学会を開催して	182
リハビリテーション職業体験&セミナー	183
ボランティア受け入れ報告	184
病院見学・実習・体験実績	186
<hr/>	
研究・研修	
業績	188
医師業績	190
看護師業績	190
療法士業績	190
研修報告書優秀者・努力賞	192
院内研修会・講演会実績	193
永年勤続表彰者	195

私たちは「寄り添う医療」を目指す



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

病棟の廊下を歩いているとなんだか空気が明るい気がして、ふと見るとカラフルな貼り絵で丹念に作られた色鮮やかな鯉のぼりが壁一杯に雄大に飾られている。「孫に会いたい」「元気になって家に帰りたい」など、願いを込めたメッセージが書かれた吹き流しの下に鯉が泳いでいる。廊下の向こうから車いすを操り近づいてくる患者はおそらく80歳は超えているだろうが、その懸命さはとてもポジティブなエネルギーを感じさせる。整形外科で手術を受けた患者、脳出血や脳梗塞で麻痺をきたした患者が多数を占める回復リハビリテーション病棟は、陰鬱なイメージよりむしろ明るい学校のような雰囲気がある。急性期病棟に比べて笑顔が多いのだ。私は回復リハビリテーション病棟専任医師として、午後の束の間をここで過ごす時間が気に入っている。

人生100年が現実味を帯びてきた昨今、その先駆者たちは今我々の周囲にいる高齢者である。既に超高齢化社会に突入している種子島にある本院でも、入院患者の80%以上を70歳以上の高齢者が占めている。医療を必要としている高齢の患者たちの気持ちに寄り添う医療とはどうあるべきか、いつも考えさせられる。そういう私自身が70歳に到達するまでに数ヶ月となり、晴れて正式に(?)高齢者の仲間入りをする。その私が回復リハビリ病棟専任医師研修会に参加して、高齢者医療、リハビリテーションについて勉強するのだ。周りを見渡すと、参加医師のおそらく3分の1は60歳を超えている。高齢の医療従事者が高齢の患者を支えなくてはならない時代を実感する瞬間である。

種子島は健康寿命が長いといわれるが、外来診療で気づいたのは、この島の農畜産業従事者に元気なお年寄りが多いことだ。屋外での活動量が多く、骨が丈夫で歩行能力が高い。しかし一方では、生活上の利便性ゆえに車に依存する高齢者も多く、いわゆるロコモティブシンドロームによる転倒で骨折するケースも後を絶たない。また、種子島の食生活は高塩分食に偏りがちであり、そこに飲酒・喫煙が加わると、高血圧、糖尿病、慢性腎不全そして呼吸器疾患(COPD、肺がん)の罹患率はぐっと上がってしまう。これらの病気をかかえる高齢者が朝早くから外来に溢れている。種子島の高齢者医療から学ぶことはとても多く、疫学や臨床研究のモデル地域に適していると考えられる。

医療に携わる我々の課題は、限られた人的・経済的資源で、超高齢化時代に「寄り添う医療」を追求することである。加速する高齢化は医療費の増大を招くと懸念されているが、一方ではICT (Information and Communication Technology)、AI (Artificial Intelligence) といったテクノロジーの急速な発達が、新たな高齢者診療システムや治療法の開発、利便性の改善などを推進することで、医療の改革のみではなく医療費の削減へと繋がるのではないかと期待されている。近未来は高齢者に優しい医療へ、「寄り添う医療」へと針路をかえていかねばならない。

本院の回復リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟では、人生 100 年に挑戦し続ける高齢者であふれている。誰にもいつかは人の手を借りなければ歩けない時がやってくる。今、「寄り添う医療」が私たちに求められている。



理事長挨拶



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
理事長 田上 寛容

私はサーフィンをします。

天気の良い日に沖に出て海に浮きながら景色を眺めます。空をみると澄み切って青く、海の水はどこまでも見えるくらい透き通っています。また振り返ると、緑の濃いなだらかな島の海岸線が見えて聞こえてくるのは波の割れる音だけです。沖にはウミガメがぶかぶかと浮いているのも珍しくありません。なんて綺麗な島なのだとつくづく思います。

平成27年に種子島の住民に対しておこなった西之表市のアンケートによると、種子島を住みやすいと感じているのは全体の8割、今後も島に住み続けたいと思っているのは6割以上でした。最近では、種子島の自然に魅せられ、種子島の人の温かさに惹かれて、島に移り住んでくる方も多くいらっしゃいます。種子島は素晴らしい島だと本当に思います。そしてこの種子島をいつまでも住み続けられ島にしなければいけないといつも思います。

では、種子島をいつまでも住み続けられる島にするためには、どうしたらいいのでしょうか。それにはやはり医療介護を充実させることが最も大事だと思います。今後10年の間に島の高齢者の人口割合は40%に達するといわれています。そんな高齢者に必要なのは、大きなスーパーでもなくレジャー施設でもありません。最も必要なのは良質な病院そして良質な介護を提供できる施設だと思います。また若い世代が出産し子育てをするためにも必要なのはやはり病院です。

病院や施設は全国にあまたあり、それぞれ開設された経緯や動機があると思いますが、当法人の設立された目的はいたって明確です。それは“島民のために”です。それが現在の病院や施設の理念となり、この48年間受け継がれてきました。

現在、医療介護は大きな変革期にあると思われ、これからとても厳しい運営を迫られる時代になると思いますが、当法人がやらなければならないことは、島民が安心して暮らせる島にするために医療介護の面からサポートすることであるのは間違いありません。そして、こ

の困難な時代を乗り越えるために、種子島に最適な医療介護のシステムを作ることこそ最も重要課題だと思います。

For the island people, tanegashima.

これからも、皆様のご支援、ご指導を賜りながら、この美しくて穏やかな種子島でみんなが安心して暮らせるために、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。



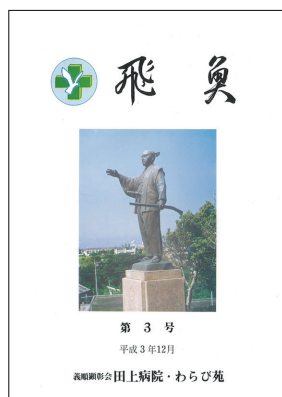
これまでに発行した「飛魚」



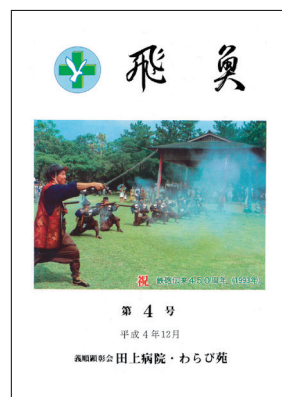
創刊号



第2号



第3号



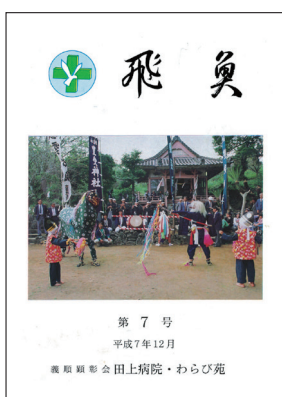
第4号



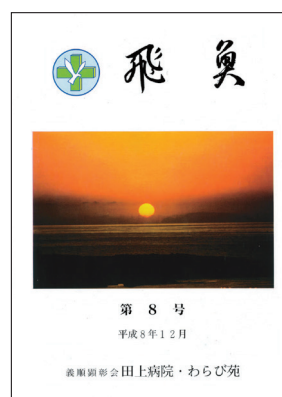
第5号



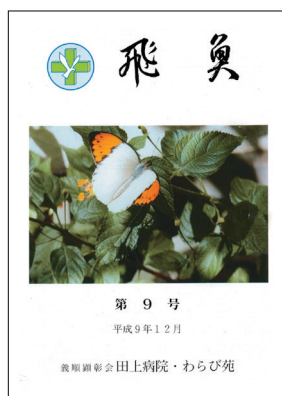
第6号



第7号



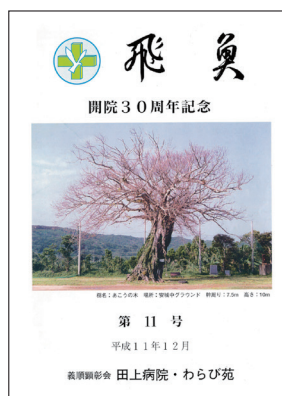
第8号



第9号



第10号



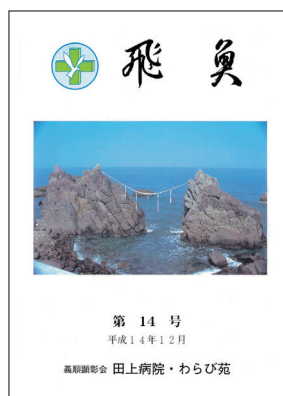
第11号



第12号



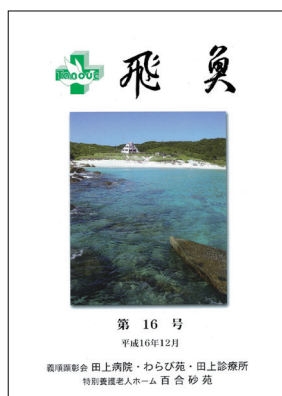
第13号



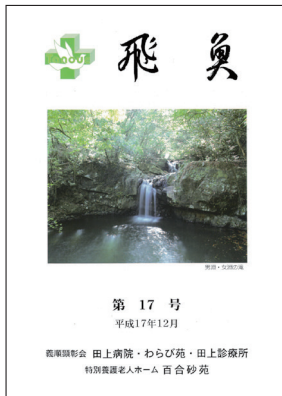
第14号



第15号



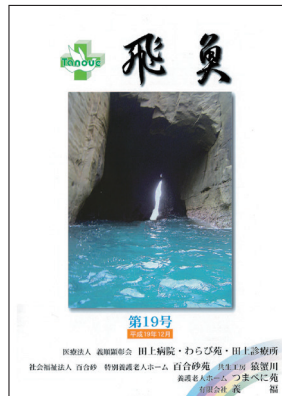
第16号



第17号



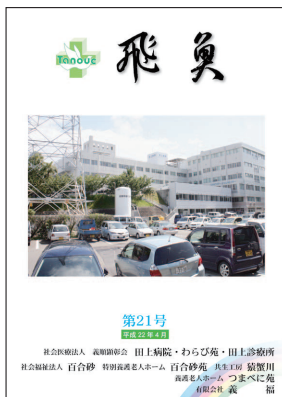
第18号



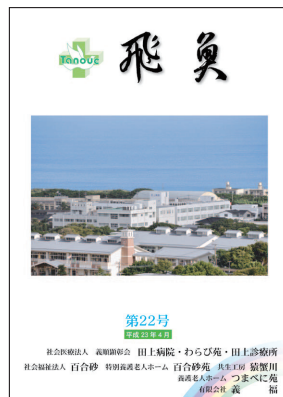
第19号



第20号



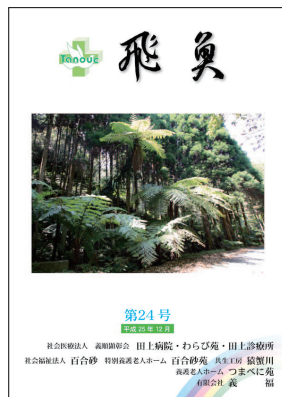
第21号



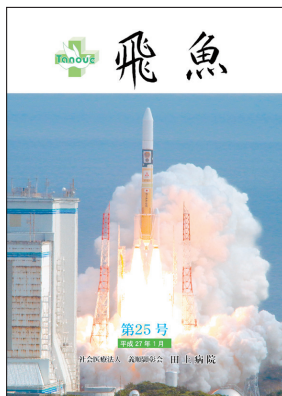
第22号



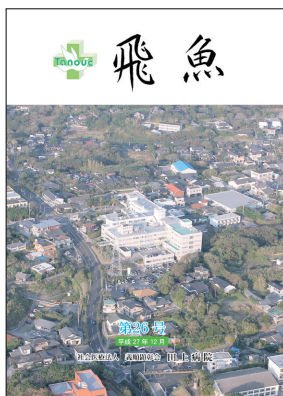
第23号



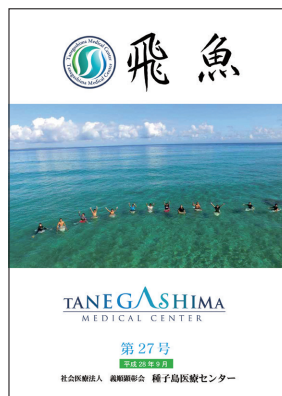
第24号



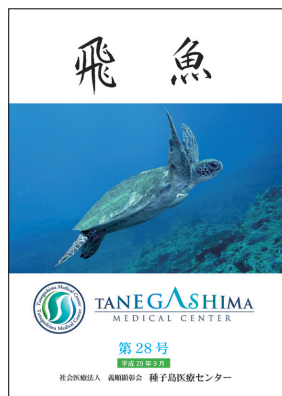
第25号



第26号



第27号



第28号

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

病院概要

概要

病院沿革

組織図

委員会・会議組織図

常勤医師

職員数

病院日誌

概要

Tanegashima Medical Center Annual Report 2018

- 1) 名称 社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター
- 2) 所在地 〒 891-3198
鹿児島県西之表市西之表 7463 番地
- 3) 電話・FAX 電話：0997-22-0960 FAX：0997-22-1313
- 4) メールアドレス master@tanegashima-mc.jp
- 5) ホームページ <http://www.tanegashima-mc.jp>
- 6) 開設者 社会医療法人 義順顕彰会
- 7) 管理者 高尾 尊身
- 8) 診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科
眼科、リハビリテーション科、麻酔科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科
耳鼻咽喉科、放射線科、呼吸器内科、心療内科、神経内科、血液内科
糖尿病内科、肝臓内科、腎臓内科、ペインクリニック内科、消化器外科
肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科
- 9) 病床数 204床（うち3階西病棟に感染症病床2床）

病棟名	主診療科	病床数	4床室	2床室	1床室
2階病棟	整形外科 脳神経外科	55	11	3	5
3階西病棟	小児科 眼科	59	12	3	5
3階東病棟	地域包括 ケア	42	7	4	6
4階病棟	回復期 リハビリ	48	9	3	6
合計		204	39	13	22

10) 指定種別

- ① 保険・公費負担医療機関
 - 感染症指定医療機関（第二種）
 - 感染症指定医療機関（結核）
 - 労災保険指定医療機関
 - 指定自立支援医療機関（育成医療）
 - 指定自立支援医療機関（更生医療）
 - 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
 - 生活保護指定医療機関
 - 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 肝炎治療特別促進事業指定医療機関
 - 戦傷病者特別援護法指定医療機関
 - 原子爆弾被害者医療指定・原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
- ② 病院機能
 - DMA T 指定病院
 - D P C 対象病院
 - へき地医療指定病院

災害拠点病院
 原子力災害医療協力機関
 救急告示病院Ⅱ類（救急指定二次）
 S A R S 受入医療機関
 エイズ治療・協力病院
 地域がん診療病院
 難病医療指定協力医療機関
 特定健診委託医療機関
 結核予防法指定病院
 結核ハイリスク者健診事業受託医療機関
 人間ドック契約病院
 ATL 検査委託実施医療機関
 日本赤十字センター血液製剤備蓄所
 肝炎診療専門医療機関
 消化器がん検診精密検査実施協力医療機関
 大腸がん検診精密検査実施協力医療機関
 肺がん検診精密健診実施協力医療機関
 低線量 CT 肺がん検診助成事業受託医療機関
 乳がん検診業務委託医療機関
 石綿・じん肺検診委託医療機関
 予防接種相互乗り入れ医療機関
 日本整形外科学会認定研修施設
 日本麻酔学会麻酔科認定病院
 臨床研修関連病院
 日本外科学会外科専門医制度関連施設
 日本消化器内視鏡学会指導施設
 日本病院会病院総合医育成プログラム認定施設

11) 施設基準

① 基本診療料の施設基準

第 309 号 一般病棟入院基本料
 第 9 号 診療録管理体制加算 1
 第 12 号 医師事務作業補助体制加算 1
 第 3 号 急性期看護補助体制加算
 第 85 号 療養環境加算
 第 461 号 重症者等療養環境特別加算
 第 25 号 栄養サポートチーム加算
 第 57 号 医療安全対策加算 2
 第 78 号 感染防止対策加算 2
 第 59 号 総合評価加算
 第 18 号 後発医薬品使用体制加算 3
 第 21 号 データ提出加算
 第 56 号 認知症ケア加算

② 特定入院料

第 23 号 小児入院医療管理料 4
 第 1 号 回復期リハビリテーション病棟入院料 3
 第 31 号 地域包括ケア病棟入院料 2

③ 特掲診療料の施設基準

第 153 号	がん性疼痛緩和指導管理料
第 345 号	ニコチン依存症管理料
第 21 号	がん治療連携計画策定料
第 168 号	薬剤管理指導料
第 66 号	医療機器安全管理料 1
第 99 号	検体検査管理加算 (1)
第 28 号	ヘッドアップティルト試験
第 93 号	神経学的検査
第 187 号	コンタクトレンズ検査料 1
第 17 号	小児食物アレルギー負荷検査
第 288 号	CT 撮影及び MRI 撮影
第 21 号	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
第 35 号	外来化学療法加算 2
第 61 号	無菌製剤処理料
第 56 号	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
”	初期加算 (脳血管等)
第 96 号	運動器リハビリテーション料 (I)
”	初期加算 (運動器)
第 49 号	がん患者リハビリテーション料
第 14 号	認知療法・認知行動療法 1
第 81 号	人工腎臓
第 69 号	導入期加算 1
第 3 号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
第 80 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
第 38 号	大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)
第 41 号	医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
第 17 号	輸血管管理料 II
第 2 号	輸血適正使用加算
第 26 号	人工肛門・人口膀胱造設術前処置加算
第 22 号	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
第 101 号	麻酔管理料 (I)
第 6 号	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中 迅速病理組織標本作成

④ 入院時食事療養及び入院時生活療養

第 335 号	入院時食事療養 / 生活療養 (I)
”	食堂加算

⑤ その他の施設基準

第 39777 号	酸素の購入単価
-----------	---------

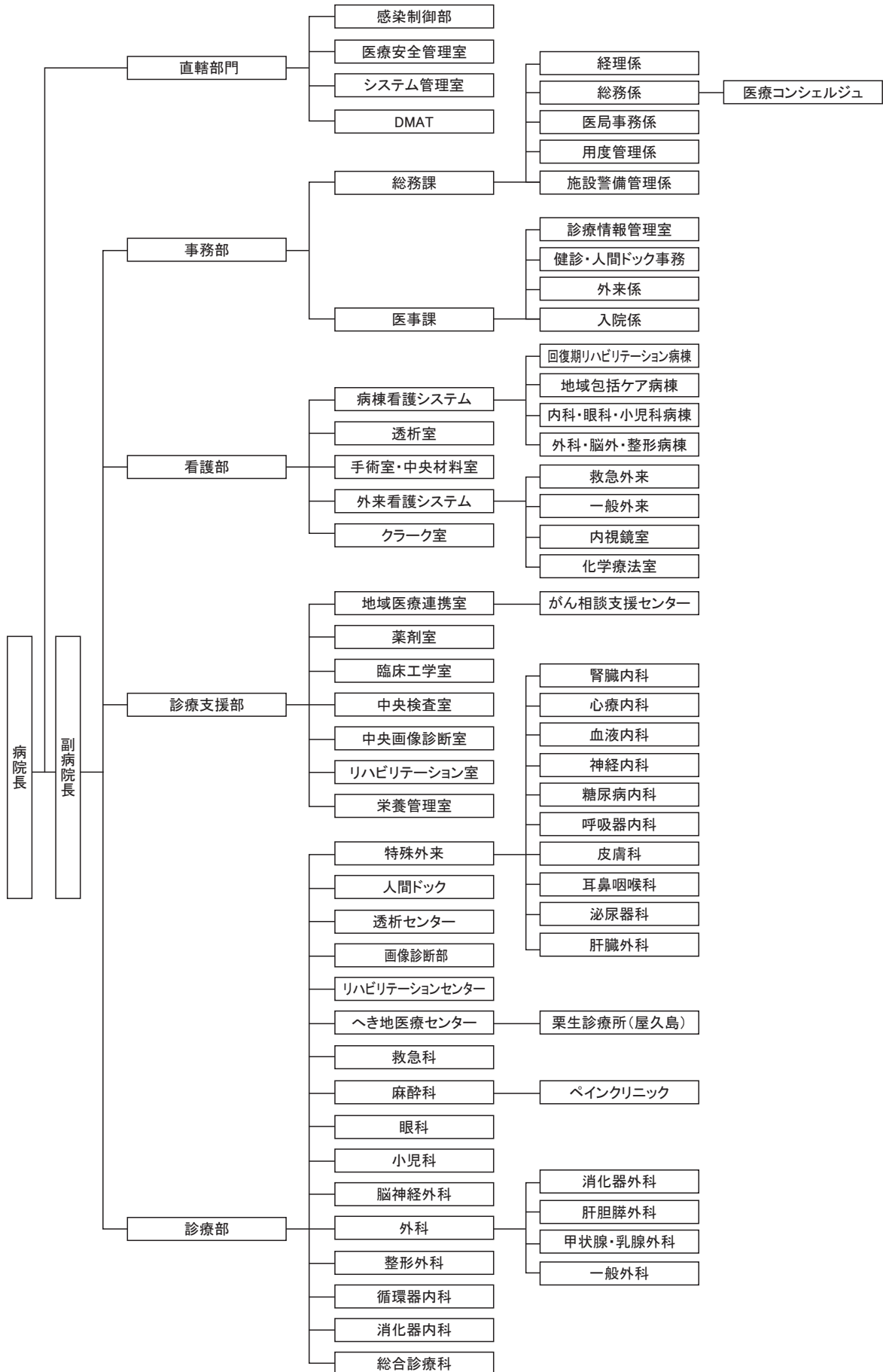
年 月	概 要
昭和 44 年 12 月	田上容正内科(診療所)開設
昭和 55 年 02 月	人工透析開始
昭和 56 年 09 月	医療法人容正会 設立
昭和 57 年 05 月	病院(28床)へ
昭和 59 年 03 月	56床病院を新築 全身用CTスキャナ設置
昭和 59 年 07 月	医療法人義順顕彰会 設立
昭和 60 年 11 月	病床数99床へ
平成 03 年 07 月	老人保健施設わらび苑 開設(入所50床、通所10名)
平成 06 年 01 月	MR I 設置 脳神経外科 新設 【標榜科目(8)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、理学療法科、脳神経外科
平成 06 年 02 月	病床数 202床へ
平成 06 年 07 月	泌尿器科 新設 【標榜科目(9)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、理学療法科、脳神経外科、泌尿器科
平成 07 年 01 月	病床種別変更 一般病床202床→157床 療養型病床群 45床新設
平成 07 年 03 月	わらび苑 痴呆棟開設のため78床に増床(痴呆20床、一般58床)
平成 08 年 11 月	理学療法科をリハビリテーション科に変更 リウマチ科 新設 【標榜科目(10)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科
平成 09 年 04 月	眼科 新設 【標榜科目(11)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科
平成 09 年 05 月	訪問看護ステーション「野の花」開設
平成 11 年 04 月	田上病院 院長 田上容祥 就任
平成 11 年 06 月	理学療法Ⅱ 認可
平成 12 年 02 月	麻酔科、放射線科 新設 【標榜科目(13)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科、麻酔科、放射線科
平成 13 年 02 月	増築工事6階建 増築
平成 13 年 05 月	作業療法Ⅱ 認可
平成 14 年 08 月	循環器科 新設
平成 14 年 08 月	リウマチ科 廃止 【標榜科目(13)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科
平成 15 年 02 月	オーダーリングシステム稼動開始(シーエスアイ)

平成 15 年 05 月	第二種感染病床 2 床、結核モデル病床 2 床 使用許可
平成 15 年 06 月	病床種別変更 一般病床 1 5 7 床→2 0 2 床(うち第二種感染症病床 2 床) 結核モデル病床 2 床 新設 療養型病床群 廃止
平成 15 年 08 月	病床種別変更 一般病床 2 0 2 床のうち、回復期リハビリテーション病棟(3 6 床) 認可
平成 16 年 01 月	電子カルテシステム稼動(診療記録)(シーエスアイ)
平成 16 年 05 月	心臓カテーテル検査開始
平成 16 年 06 月	病院機能評価 複合B 認定 地域リハビリテーション広域支援センター指定
平成 16 年 10 月	病棟再編 内科病棟・整形病棟移動
平成 18 年 04 月	病棟再編 1 5 対 1 入院基本料(1 6 6 床) 結核入院基本料(2 床) 回復期リハビリテーション病棟(3 6 床)
平成 18 年 05 月	病棟再編 1 5 対 1 入院基本料(2 0 2 床) 3 階東病棟 回復期リハビリテーション病棟の取り下げ 3 階東病棟・4 階病棟移動
平成 18 年 07 月	病棟再編 1 5 対 1 入院基本料(1 5 4 床) 結核入院基本料(2 床) 4 階病棟 回復期リハビリテーション病棟(4 8 床)
平成 18 年 09 月	1 3 対 1 入院基本料(1 5 4 床)
平成 18 年 11 月	1 0 対 1 入院基本料(1 5 4 床)
平成 19 年 01 月	心療内科外来 新設 【標榜科目(14)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科、麻酔科、放射線科、心療内科
平成 19 年 12 月	看護師寮新築
平成 20 年 01 月	中央材料室・手術室 改築
平成 21 年 04 月	亜急性期病床 8 床運用開始(3 階東病棟 8 床) D P C 請求開始 管理棟 新築 呼吸器科 新設 【標榜科目(15)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科
平成 21 年 05 月	薬局改築、安全キャビネット・クリーンベンチ導入
平成 21 年 06 月	日本医療機能評価 V e r . 5 . 0 認定
平成 21 年 09 月	亜急性期病床 1 2 床へ増床(3 階東病棟 8 床、3 階西病棟 4 床)
平成 22 年 02 月	リウマチ科 新設 【標榜科目(16)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科

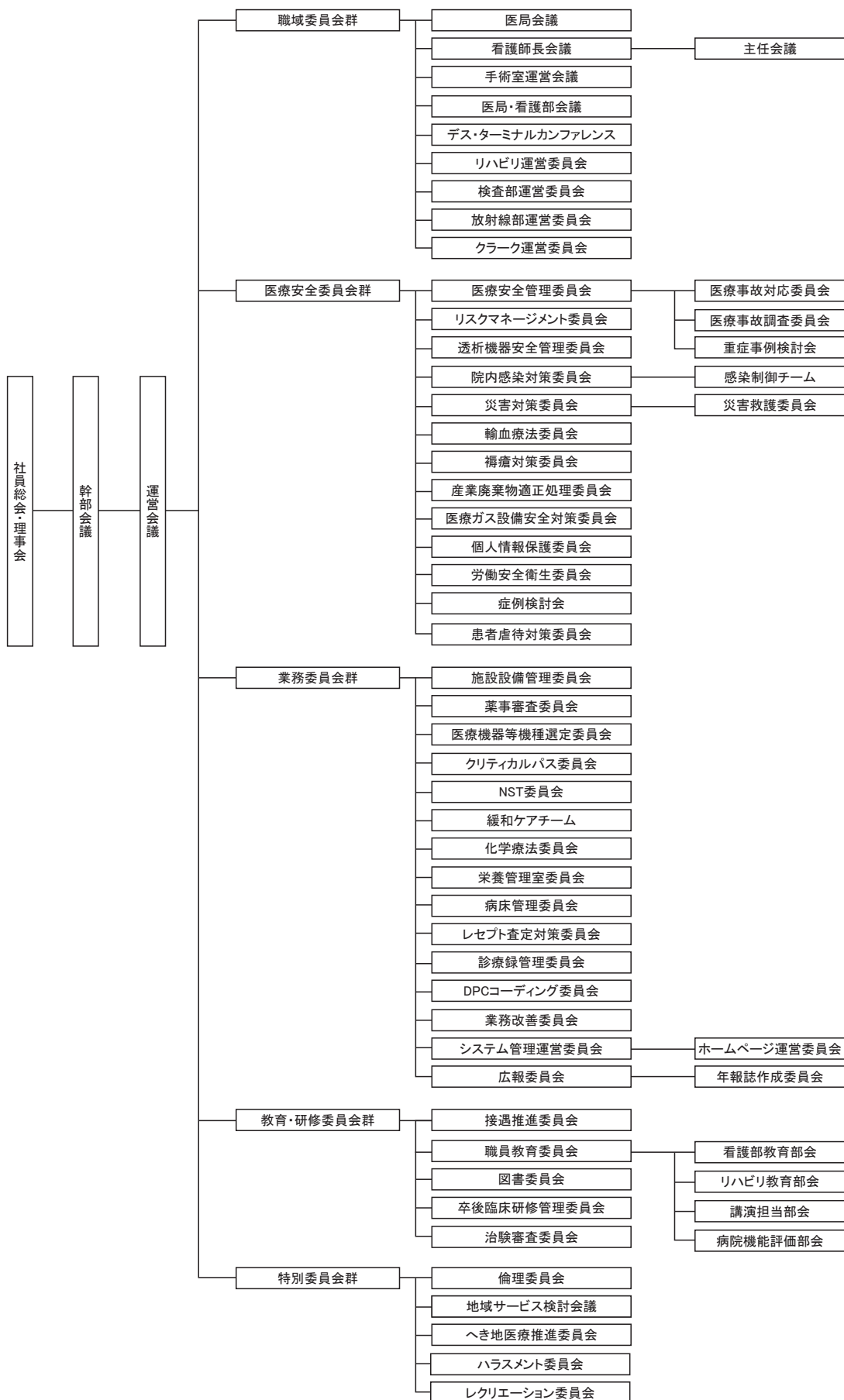
平成 22 年 04 月	社会医療法人 認定 会長に田上容正 就任
平成 22 年 06 月	理事長に田上寛容 就任
平成 22 年 08 月	副院長に田上純真 就任
平成 22 年 12 月	ハイケアユニット 4床設置(2階病棟)
平成 23 年 04 月	鹿児島県がん診療指定病院指定 消化器内科 新設 【標榜科目(17)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科、消化器内科
平成 23 年 08 月	新電子カルテシステム稼働(ソフトウェア・サービス)
平成 24 年 09 月	亜急性期病床 16床へ増床(3階東病棟 12床、3階西病棟 4床)
平成 24 年 11 月	ハイケアユニット 4床廃止
平成 25 年 01 月	介護保険訪問リハビリ開設
平成 25 年 04 月	亜急性期病床 20床へ増床(2階病棟 8床、3階東病棟 8床、3階西病棟 4床)
平成 25 年 05 月	320列CT導入 MRI更新 検査室、小児科周り改修工事
平成 26 年 01 月	X線TV装置(X線透視装置)更新
平成 26 年 02 月	生化学検査機器更新 自動精算機1、2号機更新
平成 26 年 04 月	副会長に田上容祥 就任 院長に高尾尊身 就任 副院長に山口智代子 就任
平成 26 年 08 月	放射線室内ネットワーク機器更新
平成 26 年 09 月	検査画像統合システム、放射線情報管理システム更新
平成 26 年 10 月	亜急性期病床廃止 遠隔医療支援システム(SCOPIA)稼働
平成 26 年 12 月	自動分包機稼働
平成 27 年 01 月	病棟再編 3階東病棟 地域包括ケア病棟(42床)
平成 27 年 03 月	副会長 田上容祥 辞職
平成 27 年 04 月	脳神経外科医師の非常勤体制開始(常勤医不在) へき地診療支援センター 開設 へき地診療支援センター センター長に猿渡邦彦 就任 法人事務局長に羽生守彦 就任 肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科 新設 【標榜科目(25)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器内科、心療内科、呼吸器内科、リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科
平成 27 年 05 月	遠隔病理診断システム導入 末血検査機器更新 医師住宅 5棟完成(松島) ステラッド滅菌器更新

	<p>ペインクリニック内科 新設</p> <p>【標榜科目(26)】</p> <p>内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器内科、心療内科、呼吸器内科、リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科、ペインクリニック内科</p>
平成 27 年 06 月	鼻用手術装置導入
平成 27 年 07 月	田上診療所休診 (8月末まで)
	耳鼻科手術開始
平成 27 年 08 月	回転用X線撮影装置 更新
	外科用X線テレビシステム 更新
平成 27 年 09 月	病理解剖 1 例目実施
平成 27 年 10 月	脳神経外科 常勤医師による診療開始
平成 28 年 01 月	無停電源装置 更新
平成 28 年 03 月	結核病棟の陰圧工事
平成 28 年 04 月	病院名を種子島医療センターに変更
	病院長補佐に花園幸一外科部長、北園和成内科部長を任命
	看護局長に山口智代子 就任
	看護部長に戸川英子 就任
平成 28 年 05 月	地域がん診療病院に指定(厚生労働省)
	がんサロン「サロン種子島」開設
	医師住宅(単身赴任者用) 2 棟完成(松島)
	眼底撮影システム一式 更新
平成 28 年 08 月	全自動散剤分包機(Sinngle-R93Z II)更新
平成 28 年 09 月	病院内空調機 更新
	訪問リハビリテーションを訪問看護ステーション「野の花」に編入
平成 28 年 10 月	鹿児島県行政視察(県議会環境厚生委員会)
平成 28 年 12 月	超音波診断装置ARIETTA70 更新
	生体情報モニターシステム(オムロンV7000)更新
平成 29 年 01 月	種子島医療センター病院祭(於:西之表市民会館)
	特別講演 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實
平成 29 年 02 月	病理解剖 2 例目実施
平成 29 年 03 月	わらび苑施設長 松山隆美氏 辞職
	医師住宅 2 棟完成
平成 29 年 04 月	わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 就任
平成 29 年 05 月	就任鹿児島県総合防災訓練参加(DMAT隊)
平成 29 年 06 月	第 1 回職員ボーリング大会(鹿児島市)
平成 29 年 07 月	内視鏡室改修及び内視鏡システム更新
平成 29 年 09 月	ベッド更新 10 台
平成 29 年 10 月	「日本ヒト細胞学会学術集会 in 種子島」開催
	大会会長 病院長 高尾尊身
平成 30 年 03 月	平成 29 年度西之表市災害対策訓練参加
	医師住宅 2 棟完成
平成 30 年 04 月	わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 種子島医療センターへ異動
	わらび苑施設長に池村紘一郎氏 就任
	ベッド更新 50 台

組織図



委員会・会議組織図



(平成30年7月1日現在)

氏名	年月	診療科	役職名
田上 寛容	H16. 4. 1	循環器内科	理事長
高尾 尊身	H26. 4. 1	外科	病院長
田上 純真	H15. 4. 1	眼科	副院長・眼科部長
花園 幸一	H27. 7. 1	外科	消化器・乳腺甲状腺外科部長
肥後 直倫	H28. 7. 1	外科	消化器・乳腺甲状腺外科医長
島田 紘一	H26. 4. 1	内科	外来医長
野田 政博	H28. 4. 25	内科	総合診療科医師
岡村 祐己	H30. 5. 14	内科	総合診療科医長
羽田 明生	H30. 4. 1	消化器内科	消化器内科部長
岡村 貴子	H30. 5. 14	消化器内科	消化器内科医長
盛満 人之	H27. 10. 1	脳神経外科	脳神経外科部長
松本 松昱	H27. 4. 1	神経内科	総合診療科部長
高山 千史	H17. 1. 1	麻酔科	麻酔科部長
高橋 建吾	H30. 4. 1	整形外科	整形外科部長
伊集院 俊郎	H29. 10. 1	整形外科	整形外科医長
岩元 二郎	H29. 4. 1	小児科	小児科部長
中村 達郎	H30. 4. 1	小児科	小児科医長
長濱 潤	H30. 7. 1	小児科	小児科副医長
猿渡 邦彦	H27. 4. 1	皮膚科	へき地診療センター長
池村 紘一郎	H23. 4. 1	わらび苑	施設長
竹野 孝一郎	H16. 1. 1	田上診療所	診療所院長

職員数

Tanegashima Medical Center Annual Report 2018

(各年度4月1日現在) 単位：人

	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	17		19		17		21		19	
看護師	(計171)	(計13)	(計165)	(計21)	(計167)	(計19)	(計175)	(計27)	(計174)	(計22)
正看護師	85	3	76	6	75	9	82	12	89	7
准看護師	45	5	43	8	44	2	43	5	39	4
看護助手	28	2	33	4	33	7	34	7	33	8
クレーク	13	3	13	3	15	1	16	3	13	3
薬剤師	4	0	4	0	2	0	4	1	5	0
放射線技師	8	0	6	0	6	0	6	0	8	0
臨床検査技師	4	1	4	1	6	1	5	1	5	1
リハビリテーション室	(計46)	(計1)	(計49)	(計2)	(計46)	(計2)	(計54)	(計1)	(計62)	(計1)
理学療法士	22	1	25	2	23	1	27	1	32	1
作業療法士	15	0	15	0	14	1	16	0	20	0
言語聴覚士	6	0	6	0	7	0	9	0	7	0
あん摩指圧	3	0	3	0	2	0	2	0	3	0
臨床工学技士	4	0	5	0	7	0	8	0	10	0
管理栄養士	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
医事課	(計14)	(計11)	(計15)	(計10)	(計15)	(計9)	(計13)	(計10)	(計11)	(計11)
" (入院)	5	0	6	0	6	0	4	0	3	0
" (外来)	9	2	9	2	9	2	9	3	8	4
" (フロア)	0	7	0	6	0	5	0	5	0	5
" (予約)	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
" (電話)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療情報管理	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
システム管理室	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0
地域医療連携室	1	0	2	0	2	0	2	0	2	0
事務室	4	0	6	1	7	1	7	1	10	1
庶務	2	6	2	6	2	5	3	4	3	7
用度管理室	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
保育所	5	2	5	2	5	2	5	1	5	1
その他	6	1	5	3	6	3	6	4	5	3
合計	293	35	294	46	294	42	315	50	325	47

年	月	日	内 容	
平成 29 年	4	1~30	研修医受入(南風病院1名)	
		4,5	新規採用者オリエンテーション 『労働者として知っておきたい労働基準法の基礎知識』石走社会保険労務士事務所 所長 石走啓一様 『接遇について』R i g h t - H a n d 株式会社 宮里一葉様	
		8	ナース専科就職ナビ合同就職説明会出展:東京ビッグサイト	
		10~14	医学生実習(鹿児島大学3名)	
		13	看護部伝達講習会『看護補助者の活用推進』 講師:山口さつき師長、園田満治師長、平山靖子副師長、射場和枝副師長	
		14	平成29年度新入職員歓迎会(ホテルニュー種子島)	
		17	CPC(臨床病理検討会) 病理指導:鹿児島大学医歯学総合研究科 先進治療科学専攻腫瘍学講座 講師 山田 壮亮先生 症例発表:「臨床的にATLが疑われたが、確定診断が得られなかった一例」総合診療科 医長 遠迫 孝昭先生	
		24~28	医学生実習(鹿児島大学3名)	
		27	院内講演会『市中肺炎の診断と治療』 講師:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学 教授 井上 博雅先生	
		28	看護部勉強会『ピロリ菌について』消化器内科 牧野 智礼先生	
		5	1	「へいじろう」2017春 第41号発刊
			1~25	研修医受入(北海道大学病院1名)
	8		夏時間の導入	
	13		第2回つながる想いinかごしま〜がんとともに生きる〜イベントへ5名参加	
	15~19		医学生実習(鹿児島大学3名)	
	15~26		研修医受入(松山病院1名)	
	19		平成29年度 第1回社員総会・理事会(福元法律事務所)	
	21		D M A T : 鹿児島県総合防災訓練(西之表地区周辺)	
	26		第1回 ケアカフェたねがしま 開催	
	29~6/2		医学生実習(鹿児島大学3名)	
	6	30	鹿児島大学大学院整形外科 教授 小宮 節郎先生 第1回講話会	
		30	禁煙勉強会『喫煙のリスクと治療について』 講師:ファイザー株式会社 清水様	
		31	院内勉強会『認知症ケア加算について』 講師:山口看護局長、西川医事課長	
		1	D M A T : 災害拠点病院・DMAT指定病院関係者連絡会議(鹿児島県庁 2名参加)	
	7	1~30	研修医受入(鹿児島大学1名)	
		1~7/28	研修医受入(鹿児島大学1名)	
		12~16	医学生実習(鹿児島大学3名)	
		15,21	看護部全職員対象『MRI検査・安全対策講習会』 開催者:画像診断室 川畑・江口	
		17	第1回種子島医療センター ボーリング大会(鹿児島市)	
		17	鹿児島県医師会会長賞「看護業務功労賞」受賞:山下ひとみ	
		19~30	医学生実習(新潟大学1名)	
		23	看護部勉強会『血圧下がりました。どうしましょう!』麻酔科部長 高山 千史先生	
	7	26~30	医学生実習(鹿児島大学1名)	
		27	退職講演会『かぜ診療』小児科部長 摺木 伸隆先生 種子島産婦人科医院看護師 2名 手術見学受け入れ	
		1~28	研修医受入(鹿児島市医師会病院1名、南風病院1名)	
		5~7	種子島中央高校生 3名 職場体験	
7		めいろうこども園七夕事業所訪問		
8		市民公開講座『高血圧を治そう!』 講師:鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学分野 教授 大石 充先生		
11		看護部勉強会『ストーマ装具選定について』講師:アルケア株式会社		
13		介護教室『排便排泄ケア』講師:(株)リブドゥコーポレーション 伊藤操先生		
20		医療安全研修会『転倒・転落事故の低減に向けた安全勉強会』 講師:(株)パラマウントベッド 滝澤 充様		
27~28		鹿児島大学看護科4年生 総合テーマ実習 2名		
24		院内講演会『最新のMRIで見る機能・病態』 講師:鹿児島大学放射線診断治療学分野 教授 吉浦 敬先生		
25		院内講演会 入職講演:内科医師 児玉 祐樹先生 紹介講演 退職講演:『心カテの深い話』循環器内科部長 北園 和成先生		

年	月	日	内 容
平成 29 年	7	27	第1回 研修医発表会～研修を終えて～ 濱田実貴子先生(鹿児島大学病院)、小徳羅漢先生(鹿児島市医師会病院)、上釜浩平先生(鹿児島共済会南風病院)
		29	ふれあい看護体験(種子島高校 9名、種子島中央高校 6名 参加)
		29	種子島医療センター BBQ大会(花里浜公園)
	8	1	「へいじろう」2017夏 第42号発刊
		1～31	研修医受入(北海道大学病院1名、鹿児島大学病院2名)
		3	台風5号接近による第1回災害対策委員会
		4	台風5号接近による第2回災害対策委員会
		10	医療安全研修会『医療安全を支える知識と意識～2017.夏～』 講師:病院長 高尾 尊身先生
		17	東京大学体験活動プログラム 3名来院(西之表市経済観光課企画)
		17	輸血勉強会『異型輸血について』講師:和光純葉 原様
		20	第48回種子島鉄砲祭り 手踊り参加(73名)
		21～25	職員健診・ストレスチェック実施
		22	院内講演会 入職講演:小児科医師 岩元二郎先生、井上博貴先生 紹介講演 退職講演:『種子島の思い出』内科医師 伊集 守知先生
		23	第2回 研修医発表会～研修を終えて～ 発表者:伊藤 和先生(北海道大学病院)
		24	看護部伝達講習会 『新人看護職員卒後教育担当研修報告』2階病棟 安本由希子 『眼科実施研修報告』外来 田上俊輔
		25	看護協会研修会『キャリア開発～仕事にやりがいをも～』 講師:川内医師会立川内看護専門学校 前野 かつ子先生
		27	市民公開講座『腰みがき～腰痛経験者からの提案～』 講師:リハビリテーション室 室長 早川亜津子
		29,30	院内感染勉強会『ESBLにおける院内感染対策、ウイルス感染症』講師:BML 下嶋様
	30	第3回 研修医発表会～研修を終えて～ 発表者:大園 千穂先生、里蘭 弥々先生(鹿児島大学附属病院)	
	31	看護部勉強会『メディテーションしてみませんか?』 講師:内科医師 野田 政博先生	
	9	1～29	研修医受入(鹿児島大学病院3名)
		5～10	鹿児島県地域枠医学生離島実習 4名 引率:鹿児島大学 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 准教授 根路銘 安仁先生 鹿児島大学 国際離島医療学分野 助教 指宿 りえ先生
		9	鹿児島大学看護科2年生6名実習
		9	救急市民講座講演会(西之表市保健センターすこやか) 「児童虐待と小児救急」～最前線の現場からの報告～ 講師:小児科部長 岩元 二郎先生
		14	台風18号接近による第3回災害対策委員会
		14	『シャボンラッピング研究発表会』各病棟・訪問看護
		21	看護部勉強会『高齢者に対する適切な医療提供について』内科医師 遠迫 孝昭先生
		26	鹿児島大学大学院整形外科 教授 小宮 節郎先生 第2回講話会
		26	院内研修『高血圧治療は簡単だが、治療目標達成は難しい』 鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学教授 大石 充先生
		26	退職講演会『1年間の経験』整形外科 音羽 学先生
26～28		種子島高校2年生7名就業体験学習	
27		第3回 研修医発表会～研修を終えて～ 発表者:沼田 恵理先生、稲津 真穂人先生、松岡 茂樹先生(鹿児島大学附属病院)	
29		地域がん診療病院機能強化事業研修会 1.『エンド・オブ・ライフケアについて』 講師:霧島市立医師会医療センター 緩和ケア認定看護師 松元 和代先生 2.『化学療法の看護について』 講師:霧島市立医師会医療センター 化学療法認定看護師 高畑 清美先生	
29,30		D M A T :技能維持訓練(長崎医療センター 2名参加)	
10		1～31	研修医受入(鹿児島大学病院1名)
	5	看護部伝達講習会『嚥下障害のある患者の看護』	
	7,8	第35回 日本ヒト細胞学会学術集会 i n 種子島(西之表市民会館)	
	19	平成29年度「種子島地域医療連携検討会」開催	
	21	第15回 種子島医療センター杯 種子島鉄砲ゲートボール大会(西之表市営グラウンド)	
	25	D M A T :種子島空港航空機事故対処訓練(種子島空港内)	

年	月	日	内 容		
平成 29 年	10	27	地域がん診療病院機能強化事業研修会 院内講演会『がん患者として伝えたいこと』 講師:NPO法人がんサポートかごしま 副理事長 野田真記子先生		
		28	サロン種子島 ミニ音楽会 種子島ウインドアンサンブル 様		
		30	第4回 研修医発表会～研修を終えて～ 発表者: 嶋 薫先生(鹿児島大学附属病院)		
平成 29 年	11	1	「へいじろう」2017秋 第43号発刊		
		1	わらび苑強化型介護算定開始		
		1	介護研究プレ発表会 『オムツ交換パターンの見直し～患者様負担軽減を試みて～』原田鈴子 『オムツ使用の見直し～コストダウンを目指した取り組み～』上妻芳江		
		8	看護部勉強会『命の授業』麻酔科部長 高山 千史先生		
		9	鹿児島大学大学院整形外科 教授 小宮 節郎先生 第3回講話会『腰痛と筋肉の老化』		
		9	院内避難訓練		
		9、16、30	医療安全研修会『NPPVとHFTについて』 臨床工学室 室長 芝 英樹、臨床工学技士 下村 和也		
		11	看護協会研修会『感染管理の基本』 講師:独立行政法人国立病院機構 南九州病院 認定看護師 古市 由香先生		
		14	医療監視(西之表保健所による立入検査)		
		15	院内説明会『鹿児島大学病院看護師特定行為研修の概要』 鹿児島大学病院 看護師特定行為研修センター長 垣花 泰之先生、特定看護師 福元 幸志 センター主任		
		15	輸血勉強会『輸血の基本的なこと、副作用について』 講師:鹿児島県赤十字血液センター 学術・品質情報課 新留様		
30	医療安全研修会『医療安全を支える知識と意識』～2017.秋～ 講師:病院長 高尾 尊身先生				
平成 29 年	12	6、7、8、9	看護部勉強会『看護必要度の説明会～例題を使った評価方法～』 射場和枝、瀬古まゆみ、榎本親子、山口さつき 鹿児島大学大学院整形外科 教授 小宮 節郎先生		
		9	第4回講話会『ひざの痛みについて』		
		12	交通法令講習会 講師:種子島警察署 警部 松下 拓磨 交通課長		
		13	平成29年度 第2回社員総会・理事会(本院4階会議室)		
		16	がん市民公開講座『がんもいろいろ、治療もいろいろ』 講師:鹿児島大学病院 病院長 夏越 祥次先生		
		19	第3回リハビリテーション室研究発表会 山口純平、田島拓実、宿利佳史、酒井宣政、畠本裕一、吉武寛朗、武石久雄		
		22	院内保育所クリスマス会 病院玄関イルミネーション点灯式		
		24	西之表基督協会クリスマスキャロル		
		26	医療安全研修会『造影剤検査・造影剤について』 放射線技師 江口佳奈、井上史央里		
		29	病院忘年会		
		30	仕事納め		
		平成 30 年	1	4	仕事始め
				5	院外看護研究プレ発表会 『臨床現場におけるエンゼルケアの実態と意識変化への取り組み』3西病棟 園山愛美 『弾性ストッキングの皮膚トラブルゼロを目指して ～アンケート調査に基づく看護師の意識変化～』2F病棟 日高亜登夢
平成 30 年	2	19	院内勉強会『医療ガスの正しい取り扱い方』 講師:サツマ酸素工業株式会社 大西 晃様		
		23～25	種子島中学校1年生5名職場体験学習		
平成 30 年	2	1	「へいじろう」2018冬 第44号発刊		
		1	院内感染勉強会 『クロストラム・デフィシル菌による感染症の概要説明(基礎から感染予防)について』 講師:日水製薬株式会社 石川 正義様		
		2	看護部伝達講習会 『看護記録の監査～ケアの実践・根拠を押えた記録の書き方と時間短縮のコツ～』 4階病棟 亀田千夏		
		2			

年	月	日	内 容
平成 30 年	2	9	『認知症ケア対応能力向上～症例紹介を通して～』2階病棟 田中加奈、3階東 関志穂 飯塚病院の紹介『明るい病院改革 医療情報システムとTQM&MRM活動』 ～ASOグループ/麻生飯塚病院の取組～ ASOグループ 長谷川 賞吾様、大淵 孝一様
		9	院内講演会『これからの医薬品適正使用について』 講師:鹿児島大学病院 薬剤部 教授 武田 泰生先生
10		看護協会研修会『褥瘡ケアの基礎』 講師:鹿児島市立病院 皮膚排泄ケア認定看護師 永田 富美子先生	
15		医療安全研修会『リビ' リージョン室での医療安全の取り組み』 リビ' リージョン室 副室長 濱添 信人	
19～23		夜間従事者職員健診	
22		第26回 院内看護研究発表会 【演題発表】 『高齢透析患者の看護～高齢透析患者への最適な指導法とは～』羽嶋民子 『ナースールに対する意識調査と業務改善への取り組み』西川秋代 『地域包括ケア病棟における入院患者の実態調査』 ～調査結果から見えてくること・円滑な退院調整に向けて～日高靖浩 【教育講演】 『看護研究の取り組みについて』病院長 高尾 尊身先生	
27		院内説明会『病院機能評価の説明会』	
28		院内研修会『BLS(一時救命処置)研修会』 講師:西之表消防署 救急救命士 宮園様、榎本様	
3		7	医療安全研修会『医療安全を支える知識と意識』～2018.春～ 講師:病院長 高尾 尊身先生
		11	D M A T :西之表市震災対策訓練・種子島医療センター災害対策訓練 種子島医療センター「災害対策本部設置訓練・トリアージ訓練」
		16	医療安全研修会『麻薬の取り扱いについて』 薬剤部 主任 渡辺祥馬
		19	発達障害勉強会・We bカンファ 主催:種子島四葉の会
		19	【退職講演会】 『種子島の思い出』内科 兒玉 祐樹先生 『見た目では診断可能な小児感染症』小児科 精松 貴成先生
		22	医療安全研修会『危険予知トレーニング』講師:テルモ(株)様
	23	平成29年度 第3回社員総会・理事会(本院4階会議室)	
	26	【入職講演】整形外科 伊集院 俊郎先生 【退職講演】 『①人工関節について ②種子島での2年間』整形外科 高野 純先生 『種子島で経験した消化管異物症例』消化器内科 牧野 智礼先生	